

第1回 不登校を考える学習会（振り返り）

2026.6.17（水） 19：00

1. 開催期日

2026（令和5）年 6月 13日（土） 14：00～ （事務局集合 13：00）

講師：木村 素也さん（不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」会長）

2. 参加者数

57 名（講師を除く）

【内訳】

- ・保護者：5名 ・学校関係：10名 ・一般：4名
- ・行政：7名（SSW 1、人権・同和教育課5、その他1）
- ・区長：11名 ・民生委員・主任児童委員 6名
- ・公民館長：7名 ・人権擁護委員：1名 ・左記以外の地域の方：1名
- ・小郡ティータイム：5名 ・その他、未記入：0名（未記入0）

3. 参加者アンケートより感想（別紙参照）

4. 当日の写真

【当日の写真】



【感想・ご意見】

○保護者

- ・いろいろお話を聞けてよかったです。今、不登校になったわけでは無いですが、聞いておいて良かったと思えるお話でした。いま、まだ小さいですが、いままでの積み重ねで不登校になったら・・・と思うと…子どもの様子を注意深く見ていきたいと思いました。
- ・本日はとてもためになるお話をありがとうございました。親としては、学校に行ってほしいが1番に思ってしまうところです。本人のできること、できないことを見極め、今後も無理なく接していこうと思いました。
- ・「今はただ行ってないだけ」その視点を改める。ありがとうございました。
- ・具体的な支援方法を聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・親にコントロールされた子ども、先生が話された通りの子たちで、学校にいけない、自尊心が低く僕なんて死んだほうがいい、と言っている時もあります。無理やり行動させない、自分で決めさせる、本当に大事だと思います。何をどうしたらいいのかわからず1年が過ぎました。今日お話を聞いて、なんとなく自分が感じていた不安なことが見えました。

○学校関係

- ・根拠のある理論と、長いキャリアの中での実体験に基づいたお話をされていたので、とてもわかりやすく勉強になりました。同じ方ばかり講演を依頼されることはないと思いますが、またお話を聞きたいし、他の先生にも聞いていただきたい内容だと感じました。
- ・大人の視点が大切だと感じました。ついつい「子どものせい」にしてしまうことが多いと思います。子どもの自尊感情を高めるために取り組みを進めていきたいです。
- ・これまで子どもたちのことを振り返りながら、自分のかかわり方でうまくいっていなかったと思うところに気づかされました。学校にいけないことで生じる不利益をどうこうならないようにするか、自尊心を高めるために、何ができるのかということを考えながら教員の立場で関わっていききたいと思います。
- ・学校は来させようとする、何かをできるようにさせるのが今もあると思います。まずはその発想をやめなくてはと思いました。「30分できたら次は40分」これはありがちだと思います。
- ・大変参考になりました。自分の子どものことと、生徒のことを思い出して聞いていました。子どもが中3ですが、勉強に身が入らない理由がよくわかりました。本人に決めさせなかったからです。アドバイスばかりしていました。「共感」と「理解」を求めていると思います。目標を本人の意思で決めさせることが出来ればいいなと思いました。また、生徒のことでは、自主決定が進路選択の練習だというお話は大変心に残りました。自分でこれは「がんばりたい」ということを見つけることができるよう支援したいです。地域人材、開かれた学校、ぜひ進めてほしいです。
- ・「学校に行ける人はマジョリティ、いけない人はマイノリティ」なのかなと感じました。教員は行けない人たちが何を感じているか推しはかろうとしているのか…ドキッとしました。学校の都合、自分側の勝手な思い込みで子どもたちを苦しめているかもしれないと思いました。特

別扱いではなく、自尊感情をアップさせるためにどうすべきか考えていきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

- ・不登校の原因は本人にあると思ってしまいがちでした。本人の自尊感情を高めること、そのために自分のことは自分で決めることを大事にしていきたいと思います。
- ・自尊感情が意欲と自信のもとになること、できないことに執着するよりも、できることに目を向けてひとつずつ地道に取り組んでいくこと。自分が好きなことや努力したこと、経験したことは必ず自分を支える力になること。そして展望を持たせること・・・改めて認識することが出来ました。ありがとうございました。
- ・自尊感情のお話がとてもわかりやすく納得しました。負のスパイラルではなくプラスのスパイラルで子どもたちが過ごせることが出来たらいいなと思いました。自分の高校にプライドを持てる進路指導をしていきたいと思います。

○区長

- ・現状がわかった。情報共有が必要、教育プラン、自尊感情が低下、本を読む。
- ・現在、周りに子どもたちがいなので不登校対策の実態がわからない。学校で「自分は何か違う」というだけで自分自身を認めることができないでいる。色々なタイプの人間、仕ことがある。幅広い選択技があることに早く気が付けばいいですね。
- ・その子どもの考え方を理解してどう対応するか、例を出してわかりやすかったです。
- ・現在、70代の参加者です。自分の子どもは不登校にならなかったのも、実感が分らず申し訳ありません。もうそろそろ義務教育を考える時期かな。
- ・不登校生の実情とどう対応すべきかよく分かりました。目からウロコでした。

○公民館長

- ・わたくしも、不登校の娘を持つ親でした。娘自身で望んだ学科でしたが自分自身に負荷をかけ過ぎ不登校になり、通信制で卒業単位取得した次第です。全日制時娘の学友に助けられたことも沢山ありました。身に詰まるものがありました。
- ・講師の先生の話がわかりやすく、いい勉強になりました。自尊感情の大切さはいろんな研修で聞いていましたが、改めて、自尊感情を高めていくことの大切さを知ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・昔は気軽に相談できる友人や同級生が多かったが、最近は生徒数も少なくなり、外で遊ぶことも少なくなり、相談する機会も少なくなっているように思います。いじめは昔からありました。60年前は不登校はなかったように思います。
- ・自分で生きていかなければならない。その為にできないことを解消する方法を探してクリアしていく・・・本当にその通りだと思います。私にも高校1年生で学校をやめ不登校になった孫がいます。でも、やりたいことが見つかり自分でもう一度入試を受け直して、学校に今は通えています。
- ・ココロプランのことを始めて知りました。学校そのものも大きく変わってきていると思いました。不登校になったときに自尊感情を落とさせないために、色々な方法があることはわかった

がその情報を私も含め知らない人が多いのではないかと思いますので、もっとみんなが情報を共有できるといいと思った。

- ・なぜ不登校が増えるのか？子は親の鏡、社会の鏡、治安悪化、いじめ（金だけ・今だけ・自分だけ）学校教育に倫理・道徳の時間を増やしたらどうでしょう。
- ・自分のことは自分で決める。その通りだと思います。他にもたくさんありますが、不登校を考える学習会参加させていただき良かったです。

○行政

- ・「不登校」本人は社会的不利益を受ける。自尊感情を傷つけられている。人の話を聞いてもその通りにするのではなく、自分で必要なことは自分で決める。できることに目をむける。今できないことは（学校にいけない）はしない、心に残りました。ありがとうございました。

○一般

- ・最近の情報を交えながら、わかりやすく、良いお話が聞けて良かったです。有難うございました。
- ・不登校の現状について、全然知らないことばかりだった。自分もボランティアで子どもと関わることがあるので、接し方や見守り方においてすごく参考になった。